

不登校児童生徒、特別な支援が必要な児童生徒 及び外国人児童生徒関係の支援計画例

児童生徒理解・教育支援シート(試案)

(小)	
(中)	
(高)	
児童生徒名	

分類番号

児童生徒理解・教育支援シート(共通シート)

作成日:平成〇年〇月〇日

作成者 HO(記入者名) 追記者 HO(記入者名)／HO(記入者名)／…

名前(よみがな)	性別	生年月日

○学年別欠席日数等	追記日→	○/○												
年度														
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	高4	
出席しなければならない日数														
出席日数														
別室登校														
遅刻														
早退														
欠席日数														
指導要録上の出席扱い														
①教育支援センター														
②教育委員会所管の機関(①除く。)														
③児童相談所・福祉事務所														
④保健所、精神保健福祉センター														
⑤病院、診療所														
⑥民間団体、民間施設														
⑦その他の機関等														
⑧IT等の活用														

○支援を継続する上での基本的な情報

特記事項(本人の強み、アセスメントの情報等)

○家族関係

特記事項(生育歴、本人を取り巻く状況(家族の状況も含む。)、作成日以降の変化等)

備考欄

児童生徒理解・教育支援シート(学年別シート)

担任名 _____

作成日 平成〇年〇月〇日 _____

作成者 _____ 追記者 〇/〇(記入者名)、〇/〇(記入者名)、…

管理職名 _____

名前	性別	学校名	学年	学級

○支援チーム(校内・校外)

○月別欠席状況等

※追記日→

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
出席しなければならない日数													
出席日数													
別室登校													
遅刻													
早退													
累積欠席日数													
欠席日数(出席扱いを含む)													
指導要録上の出席扱い													
①教育支援センター													
②教育委員会所管の機関(①除く。)													
③児童相談所・福祉事務所													
④保健所、精神保健福祉センター													
⑤病院、診療所													
⑥民間団体、民間施設													
⑦その他の機関等													
⑧IT等の活用													

○不登校(継続)の理由

○本人の状況・意向

1学期	2学期	3学期

○保護者の状況・意向

1学期	2学期	3学期

○具体的な支援方針

	目標	具体的な支援内容		経過・評価
		学校	関係機関	
1学期	〇月〇日			
2学期	〇月〇日			
3学期	〇月〇日			

○次年度への引継事項(支援・指導の参考となるエピソード等も含め、多様な視点で記入)

児童生徒理解・教育支援シート(ケース会議・検討会等記録)

日付

記録者

学年・組	名前	参加者・機関名

○本人の意向

--

○保護者の意向

--

○関係機関からの情報

--

○支援状況

支援目標		
機関・分掌ごとの役割分担	短期目標	経過・評価

○確認・同意事項

--

○特記事項

個別の教育支援計画及び個別の指導計画は、各自治体等が独自の様式・項目を作成し、運用している。本資料は東京都教育委員会が作成した様式例を一部抜粋したものである。
 (出典：「特別支援学級(固定学級・通級による指導)教育課程編成の手引」
 (http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/23tokushi_kyoikukatei.htm))

特別な支援が必要な児童生徒関係の
支援計画例
 (東京都教育委員会作成)

個別の教育支援計画の書式例

児童・生徒	ふりがな		性別
	氏名		
担任	氏名		
在籍校	学校		年 組

現在・将来についての希望

児童・生徒	
保護者	

支援の目標	学校生活における児童・生徒への支援の内容 ・教育的支援(適切な指導及び必要な支援)の内容と指導者の役割分担 ・「個別指導計画」での具体的な指導・支援
必要と思われる支援	

学校の支援

家庭の支援	家庭生活における児童・生徒への支援の内容 ・家庭における児童・生徒への支援の役割分担 ・その他
-------	---

支援機関の支援

家庭生活	支援機関: _____ 担当者: _____ 連絡先: _____ 支援内容: _____	地域生活における支援 ・ヘルパー、ボランティアの利用、外出、地域活動、放課後活動等への参加 ・ショートステイ等の利用 ・家族への必要な支援 ・その他
余暇・地域生活	支援機関: _____ 支援内容: _____	
医療・健康/教育相談等	支援機関: _____ 支援内容: _____	
支援内容の評価と課題		医療・健康面での支援 ・主治医の定期的な診察 ・医療的ケア ・通院 ・機能訓練 など

支援会議の記録(予定も含む)

日時	参加者	協議内容・引継事項等
----	-----	------------

作成日 平成 年 月 日 <新規・更新(回)>
 校長
 作成担当

私は、以上の内容を了解し確認しました。

平成 年 月 日 氏名 _____

平成○年度個別指導計画

○○立○小学校 言語障害通級指導学級

ふりがな <児童名> ○○ ○○	<在籍学校・学級> ○○小学校 3年○組	<担任> ○○ ○○	<当教室担任> ○○ ○○	<通級形態> 週1回 2単位時間
<本児の願い> 言葉を覚えたい。		<保護者の願い> 言葉で自分の気持ちなどを伝えられるようになり、言いたいことが言えなくてイライラしたりしなくなしてほしい。		
目標	○身近なものについての語彙を増やし、言葉のイメージを豊かにする。 ○言葉で状況や自分の気持ちなどをできるだけ詳しく伝えられるようになる。 ○得意なことを通して、集中して取り組む気持ちや自信をつける。			
	ねらい	学 習 内 容	評 価	
一 学 期	(1) 身近なもの、動作や状態を表す言葉等を覚える。 (2) 2～3人の人がやりとりをしている絵を見て、文章化する。前後の状況を絵にして、説明する。 (3) 覚えた語彙や前後の状況を得意な絵で表す。	(1) 絵カードや情景を描いた絵について、出てくる語彙を覚えたり、説明したりする。 (2) 状況の絵を見て文章にする。また、できた文を前後のつながりを確認しながら組み立てる。 (3) 覚えた語彙や状況の前後を絵にして説明する。	(1) 名称が出てこない場合は、「何をするもの?」といった質問をすると身振りを交えながら、「こうやってこうするもの」「こうやってはさむ。」とたどたどしいながらも、説明することができました。 (2) 「どうして?」「その後は?」「どう思った?」等と一つ一つ丁寧に質問していくことで、文章をつなげていくことができました。また、後から思いついた文と前に言った文を「誰が?」等一つ一つ確認していくことで、時系列に並べていくことができました。 (3) 意欲的に取り組み、状況絵は3コマ漫画のように吹きだしをつけるなどしていました。	
二 学 期	(1) 語彙を増やし、自分の考えを説明できるようになる。 (2) 言葉のイメージを豊かにする。 (3) 言葉で説明できないことを絵で表す。	(1) (3) テーマに沿った言葉を考えたり、説明したりする。言葉で説明できないことは、絵で表す。 (2) “にせもの外国語クイズ”(「タベモノササール」といった造語が何を示しているのか考える。この場合の答えは「フォーク」「ようじ」など)	(1) (3) 毎回テーマを決めて、それについて思いつく言葉を考えました。言葉を思いつかないが自分の考えがある場合には、絵で表してもよいことを伝えました。はじめは、現実にはないものを考え出して絵にしていました。名称が想起できないものや、想像上のものについては、自分で説明するよう促しました。得意な絵を使った学習であったことや、自分の想像したものを伝えたいという気持ちが大きかったこともあるのか、意欲的に取り組みました。 (2) 当初は、指導者が考えたものが正解でそれと違っていると×であると思っていた様子でしたが、回数を重ねるうちに、いろいろな考え方があることが分かった様子で、「あー、そっちはそう考えたんだ。俺はこう思った。」というように柔軟に捉えることができるようになりました。	
三 学 期	(1) 語彙を増やし、言葉のイメージを豊かにする。 (2) 課題に沿った文を書くことで、語彙を増やしたり、文を構成したりする力をつける。 (3) 自分の言いたいことを相手に伝えられるようになる。	(1) テーマに沿った言葉集めクロスワード、さかさま言葉を作るなど → p147 参照 (2) いろいろな文を書く。 (主語・目的語・述語をそれぞれ書き、組み合わせを変えて、文にする、指導者と一文ずつ文をつなげて、小説風にする、擬声語などを入れて文を書く等)	(1) 言葉集めでは、テーマに沿った言葉を考えました。語彙が思い浮かばないときには図示したり、「こんなもの」と形や用途などを表現したりするなど、相手に伝えようとする意欲が感じられるようになりました。クロスワードパズル等では、問題文の意味が理解できないことがありました。指導者が解いてみせると「あーそういうこと。」と理解して取り組みました。 (2) いろいろなやり方で文を書くことで、文章を書くことに慣れてきました。指導者と自分の表現を比べてみるなど意欲的に取り組みました。 (3) “冬休みの話”“作品展について”など、毎回、指導のはじめに話を聞く時間を設けました。言葉を想起できないときには絵で表したり、自分の覚えている語彙を駆使してなんとか伝えようとした様子が見られました。言葉が拙い部分では、指導者が引き出しながら、話を進めました。同じことを違う表現で聞き出しましたが、途中であきらめることなく最後まで話を続けることができました。	
		(3) 出来事を話す。 → p147 参照		

(学校内で作成する指導計画 様式例)

個別の指導計画(参考様式)

様式1(児童生徒に関する記録)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
在籍									
フリガナ 児童生徒氏名 (通称)	(男・女)					国籍等			
フリガナ 保護者氏名 (通称)						続柄			
生年月日						出生地			
入国年月日				学校受入年月日					
家族構成									
家庭内使用言語									
生育歴・学習歴									
学校内外での支援状況									
進路希望									
その他									

(学校内で作成する指導計画 様式例)

個別の指導計画 (参考様式)

様式2 (指導に関する記録)

フリガナ 児童名	()年	作成者	作成日 更新日	年 月 日 年 月 日									
日本語力													
指導目標													
指導計画													
「特別の教育課程」による日本語指導	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	段階												
	日本語学習内容												
指導計画													
指導者													
指導場所									指導時数				
上記以外の指導等													
指導内容・方法に関する評価及び学習状況の評価等													

(学校設置者に提出する指導計画 様式例)

〇〇年度 特別の教育課程編成・実施計画(参考様式)

学校名	
学校長	
提出日	

指導内容 : ①サバイバル日本語、②日本語基礎、③技能別日本語、④日本語と教科の統合学習、⑤教科の補習

No.	学年	児童生徒氏名	指導内容							指導時間	指導形態	指導者
			学習段階	①	②	③	④	⑤	その他			
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

【備考欄】